日本の資源と産業

名前

問1　日本の郊外地域において、1960年代には多くの「田」が見られた場所が、2000年代には建物が密集する市街地へと変化している様子が見られます。このような人口の増加や開発によって土地の使われ方が変わる現象を何と呼びますか。（2017年 大阪府公立入試 類似）

1. 工業化　2. 都市化　3. 集約化　4. 過疎化

問2　農産物の産地を比較した説明として正しいものを、次のうちから選びなさい。なお、データ上の特徴として、Aは北海道が収穫量の大部分を占め長崎県が上位に入り、Bは鹿児島県と茨城県が収穫量の上位を占めているものとします。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. Aは乳牛の飼育頭数、Bは肉牛の飼育頭数である。　2. Aはてんさい、Bは茶である。　3. Aはさつまいも、Bはじゃがいもである。　4. Aはじゃがいも、Bはさつまいもである。

問3　日本がオーストラリアから輸入している品目の内訳において、液化天然ガスや石炭に次いで高い割合を占め、自動車などを製造する際の鉄の原料となる資源は何か。（2016年 北海道公立入試 類似）

1. 鉄鉱石　2. コーヒー豆　3. とうもろこし　4. 原油

問4　日本の水産業の変遷において、1970年代以降に各国の沿岸から200海里の範囲に「排他的経済水域（EEZ）」が設定されたことが、日本の漁業に与えた直接的な影響として最も適切な説明を選びなさい。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 人工的に育てた稚魚を放流する栽培漁業が、国際法により全面的に禁止された。　2. 沿岸から12海里以内の領海が廃止されたため、沿岸漁業が自由化された。　3. 他国の水域内での操業が厳しく制限されたため、遠洋漁業が衰退した。　4. 公海上の資源をすべて日本が管理できるようになったため、遠洋漁業が急成長した。

問5　日本が輸入している主な鉱産資源と、その主な輸入先相手国の組み合わせとして最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 宮崎県公立入試 類似）

1. 鉄鉱石 ― ブラジル　2. 原油 ― オーストラリア　3. 石炭 ― サウジアラビア　4. 鉄鉱石 ― アラブ首長国連邦

問6　1950年代半ばには5,000人以上の人口を抱えていたある村において、約25年間で人口が4,000人程度まで急激に減少した事例のように、人口の減少によって地域社会を維持する基盤が弱まり、産業の衰退や生活機能の低下を招いている状態を何といいますか。（2018年 広島県公立入試 類似）

1. 持続可能な開発　2. 過密化　3. 過疎化　4. ドーナツ化現象

問7　かつて日本の扇状地では、明治時代から大正時代にかけて地図上に桑畑の記号が密集して見られましたが、現代の地図ではその多くが果樹園の記号へと変化しています。このように養蚕業が衰退し、土地利用が変化した主な背景として最も適切なものはどれですか。（2021年 新潟県公立入試 類似）

1. 食生活の欧米化により、桑の葉を原料とした健康食品の需要が減ったため　2. ナイロンなどの化学繊維が普及し、絹糸の需要が大幅に減少したため　3. 海外から安価なコメが大量に輸入され、桑畑を水田に転換する必要があったため　4. 家畜の飼料としての需要が高まり、桑畑から大規模な牧場へと転換されたため

問8　日本の農産物貿易において、1960年から2018年にかけての統計的な変化と、それに関連する日本の食料事情について説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2026年 鳥取県公立入試 類似）

1. 中国からの安価な農産物の輸入が急増したため、日本の農業はアメリカ合衆国への依存を完全に脱却した。　2. 地産地消の動きが全国的に広がったことで、小麦や大豆の輸入依存度は1960年当時よりも改善された。　3. かつて輸入先として大きな割合を占めていたソ連に代わり、現在はブラジルが日本にとって最大の農産物輸入相手国となっている。　4. 主要な穀物の輸入先がアメリカ合衆国へ集中するようになり、日本の食料自給率は低下傾向にある。

問9　日本国内の発電量の推移において、2030年に向けて太陽光や風力といった再生可能エネルギーの割合を増やし、天然ガスや石炭などの化石燃料を用いた火力発電の割合を大幅に減らす予測が立てられています。このようなエネルギー構成の変化が日本の資源供給に与える影響として最も適切なものを選択してください。（2023年 秋田県公立入試 類似）

1. エネルギーの自給率を高めるために、二酸化炭素の排出量が多い火力発電を維持する。　2. 火力発電の割合が低下することにより、海外からの化石燃料の輸入量が減少する。　3. 国内の発電量を確保するため、原子力発電のみを唯一の主要な電源として活用する。　4. 再生可能エネルギーの普及を補うために、石炭や石油の輸入量が大幅に増加する。

問10　富山県の立山連峰にある黒部ダムのように、日本の大規模な発電施設が険しい山間部の谷間に建設される理由として、地形の観点から最も適切な説明はどれですか。（2016年 山口県公立入試 類似）

1. 火山活動が活発であり、地下から噴き出す高温の蒸気を利用しやすいから。　2. 急峻な山地が多く河川の勾配が急であるため、効率よく水の落差を得られるから。　3. 海岸沿いに位置しており、燃料となる石油や石炭を輸入するのに便利だから。　4. 広大な平坦地が確保しやすく、大型の発電タービンを多数設置できるから。

問11　日本の食料輸入と仮想水（バーチャルウォーター）の関係について、日本の畜産業が抱える課題を含めて説明した文として正しいものはどれですか。（2023年 愛知県公立入試 類似）

1. 仮想水は飲用水の不足を補うための概念であるため、工業用水や農業用水を十分に確保できている日本においては、食料自給の議論とは無関係である。　2. バターなどの畜産物は、米や野菜などの農産物と比較して生産に必要な水の量が極めて少ないため、仮想水の観点からは輸入によるメリットは小さい。　3. 日本は主食である米の自給率が高いため、飼料作物の輸入が停止しても、国内の畜産物供給や仮想水の需給バランスに大きな影響は出ない。　4. 日本は飼料作物の多くを海外からの輸入に依存しているため、畜産物を通じて間接的に大量の仮想水を輸入しており、海外の水資源の影響を受けやすい状況にある。

問12　国の経済規模を示す指標である「国民総所得」の伸びと、その国から日本を訪れる旅行者数の関係について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2016年 広島県公立入試 類似）

1. アジア諸国においては、国民総所得の伸びが小さい国ほど訪日旅行者数の増加率が大きくなる　2. 国民総所得の伸びと訪日旅行者数の増加率には、概ね正の相関が見られる　3. 国民総所得が伸びると、生活水準の向上により訪日旅行者数は減少する傾向にある　4. 訪日旅行者数は各国の政策のみに依存するため、国民総所得の伸びとは無関係である

問13　日本の海上輸送による輸入品目の内訳を確認すると、日本の経済や人々の生活を支える特定の資源が高い割合を占めていることがわかります。海上輸送によって運ばれる主要な輸入品目の組み合わせとして正しいものを選んでください。（2020年 岐阜県公立入試 類似）

1. 生花・衣類・肉類　2. 新聞・生鮮野菜・宝飾品　3. 集積回路（IC）・医薬品・電子部品　4. 原油・液化ガス・石炭